

平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	ドクターヘリの導入促進(統合補助金分)		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～		担当課室	指導課 救急・周産期医療等対策室		課長:田中 剛		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	救急医療用ヘリコプターを用いた救急医療の確保に関する特別措置法(平成19年6月27日法律第103号)		関係する計画、通知等	救急医療対策事業実施要綱				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	救命率の向上及び広域患者搬送を目的として、ドクターヘリ(医師が同乗する救急専用ヘリコプター)の全国的な導入の促進を目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	ドクターヘリを導入した都道府県、又は都道府県の要請を受けてドクターヘリを導入した救命救急センターに対して、運行経費等の財政支援を行うことで、ドクターヘリの導入を促進する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	2,730	2,930	250億円の内数	227億円の内数	6,213	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	2,730	2,930	250億円の内数	227億円の内数	6,213		
	執行額	2,369	2,742	3,209				
執行率(%)	86.8%	93.6%	-					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	ドクターヘリによる搬送実績			件	9,652	13,008	集計中	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		活動実績(当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	ドクターヘリの導入機数			機	26	32	40	-
					(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	211,765千円/か所		算出根拠	平成25年度 ドクターヘリ導入促進事業の補助基準額 ※当該事業の全ての基準額を使用した場合(日中飛行)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	補助金	227億円の内数	6,213	「新しい日本のための優先課題推進枠」6,213,409千円				
	計	227億円の内数	6,213					

事業所管部局による点検					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	救急医療は、国民が安心して暮らしていく上で、欠かせないものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	救急医療の充実を図っていくためにも、引き続き国の施策として実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	導入機数の増加等に伴い、ドクターヘリによる搬送実績も増加傾向にある。また、医師等が同乗し、現場で速やかに処置を行う事ができるドクターヘリは有効な患者搬送手段の一つあることから引き続き導入の促進を図る必要がある。平成24年度末時点で34道府県で40機が導入されている。	
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	国庫補助率は1/2となっており、受益者も応分の負担をしている。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	当該事業に必要な補助基準額の設定を行っている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	都道府県が行う事業に対する補助事業であり、概算払いも可能となっていることから、支出を委任している都道府県において、合理的に支出されているものとする。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	・医療提供体制推進事業費補助金交付要綱に記載する当該補助事業の対象経費を交付額の算定方法に従い、算出している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	-	-	-		
点検 結果	新規に導入する場合には、都道府県における導入時期を詳細に把握することで、事業規模の適正化に努めているところである。				
	外部有識者の所見				
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状 通り	ドクターヘリの導入促進(統合補助金分)については、ドクターヘリを導入した都道府県等に対して運行経費等の財政支援を行うための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状 通り	-				
備考					
<p>○事業仕分け第1弾 平成21年11月12日 事業番号:2-9「医師確保、救急・周産期対策の補助金等(一部モデル事業)」 評価結果:予算要求の縮減(半額) とりまとめコメント:「要求どおり」は、0名である。その背景としては、昨日議論した診療報酬の見直しと組み合わせた形で本補助金を有効なものにするというのが、本WGの思いだと考える。したがって、このWGの判断としては、「予算半額」を結論としたい。今後の診療報酬見直しの経緯を見ながら、真に必要なならば平成22年度補正予算での対応もありえると考えている。平成22年度当初予算についても、真に必要な事項に絞ることとし、支給する方法、内容、支給先についても厚生労働省の政務三役としっかり相談してもらいたい。</p> <p>○事業仕分け第3弾 平成22年11月16日 事業番号A-9「医師確保、救急・周産期対策の補助金等」 評価結果:見直しを行う とりまとめコメント:診療報酬改定で対応可能な事業の廃止、医師不足対策への実効性が定かではない事業の廃止、不用額の確実な反映をさらにしっかりとやっていただきたいということが結論。医師確保、救急・周産期対策そのものについては大変重要であることは全員共通しているが、今の補助金の仕組みそのものが本当に効果的なやり方なのか、議論の中では包括的に支払うとか、必要なものについては補助率を高めるとかいろいろな議論があったので、減らす方向での対応をしっかりとやっていただくとともに、より使い勝手がよく、より効果的なやり方を今日の議論を踏まえて検討していただくということを結果に付随して申し上げ、全体として結論としたい。</p>					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	25	平成23年	0024	平成24年	024-2

厚生労働省  
24年度 3,209百万円

【ドクターヘリ導入施設に対する運航経費等の補助】

補助先: 都道府県(間接補助先: 市町村、その他厚生労働大臣が認める者)  
補助率: 1/2(負担割合: 国1/2、都道府県1/2)

【補助】

A. 34道府県及び関西広域連合  
3,209百万円  
(補助額1位: 北海道316百万円)

【ドクターヘリ導入施設に対する運航経費等の補助】

【補助】

B. 北海道医療機関(3)  
316百万円  
(3病院ともに105百万円)

【ドクターヘリの運航経費】  
【医師・看護師にかかる給与費】  
【運航調整委員会経費】

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.北海道			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	ドクターヘリ導入施設に対する運行経費等の補助	316			
計		316	計		0
B.手稲溪仁会病院			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
運航費	ドクターヘリの運航経費	94			
人件費	医師・看護師にかかる給与費	10			
その他	運行調整委員会経費、消耗品費	1			
計		105	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道	ドクターヘリの導入促進に対する補助	316		
2	長野県	ドクターヘリの導入促進に対する補助	212		
3	千葉県	ドクターヘリの導入促進に対する補助	192		
4	静岡県	ドクターヘリの導入促進に対する補助	154		
5	青森県	ドクターヘリの導入促進に対する補助	120		
6	栃木県	ドクターヘリの導入促進に対する補助	106		
6	埼玉県	ドクターヘリの導入促進に対する補助	106		
6	岡山県	ドクターヘリの導入促進に対する補助	106		
9	群馬県	ドクターヘリの導入促進に対する補助	105		
9	神奈川県	ドクターヘリの導入促進に対する補助	105		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	手稲溪仁会病院	ドクターヘリを用いた救急医療	105		
1	市立釧路総合病院	ドクターヘリを用いた救急医療	105		
1	旭川赤十字病院	ドクターヘリを用いた救急医療	105		